

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ミッション・ビジョン

目指せ、国民総株主。生活インフラ利用を通じて株式を保有でき、みんなで価値を創ってみんなで成果を分け合う社会（共創資本主義）を実現。

インベスタマー数
823,947人

② 中長期の経営戦略

1. インベスタマー創出

電気・ガスなど生活インフラサービス利用の対価やキャンペーン参加を通じて当社株式を保有できる仕組みを提供。

3. サービス領域の拡充

電気・ガス等の既存事業拡充と独自サービス創出により、株式取得機会を広げインベスタマー基盤を拡大。

2. 認知拡大・情報発信

国民総株主・共創資本主義のビジョンおよび仕組みの認知拡大に努め、積極的な情報発信を実施。

4. 開発体制強化

Asian Bridgeの配下により開発を内製化。機動的なサービス改善とシステムの安定稼働を実現。

③ 対処すべき課題

① ビジョン認知の拡大

- ・国民総株主・共創資本主義の認知拡大
- ・インベスタマー仕組みの理解促進

② 事業基盤の強化

- ・新規利用者獲得と既存利用者エンゲージメント強化
- ・サービス領域の拡充と独自サービス創出
- ・システム安定稼働とデジタル開発体制の強化

③ 組織・管理体制の整備

- ・企業理念を体現する人材育成と確保
- ・内部統制・管理部門の拡充
- ・情報セキュリティ強化と個人情報保護

面接で使えるポイント

- ・823,947人のインベスタマーを創出した仕組みに関わる実務に興味があるか確認できる。
- ・生活インフラ事業とベンチャー精神を両立させるAsian Bridge統合後のサービス改善動向への関心を問える。
- ・共創資本主義という新しい経済概念の実現に参加する意欲を引き出せる。

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに

当社ならびに連結子会社である株式会社KABU& ;ほけんパートナーズおよび株

主力事業・セグメント

・サービス業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
80億円営業利益率
▲18.6%財務健康度
19点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 38.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収

－（未開示）

平均年齢

－（未開示）

平均勤続

－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

